

※ 本コラムは、共同通信社より配信されたものです。

企業価値は長い目で

社会と共存し事業継続

日本取引所グループと日本経済新聞社が、新しい株価指数「JPX日経インデックス400」を共同開発しました。東証上場企業の中から、企業価値の向上が期待できる400銘柄を選んで算出します。株主の出資したお金をどれだけ効率的に使ったかを示す「ROE(株主資本利益率)」を銘柄選定に用いて、収益性を重視した指数として注目されています。

株式市場からみた企業の価値は、長い期間に渡って生み出される利益や現金が基本になります。きょうや明日の株価で変わるのではなく、事業の将来性とリスクを長期的視点で評価することによって決まります。企業価値の向上を期待した投資は、長い目でみて判断する必要があるのです。

企業価値や長期投資への関心が高まることは、企業を社会性や環境対応の観点から評価する社会的責任投資(SRI)にとっても重要です。

企業を長期的な視点で評価するには目先の売上高や利益だけではなく、その事業が社会や環境と共存していけるのかどうかを見定めなくてはなりません。今は大きな利益を得ていても、従業員を酷使していたり、環境を破壊したりしては、事業を継続していくことができないからです。

SRIとは企業が良いことをしているから株を買うものではありません。社会や環境に配慮した取り組みが、長期的な競争力の構築につながるからこそ投資するのです。

利益と、持続可能性のバランスを保つことのできる企業の活動が、より豊かで安全な社会の実現につながると考えています。(株式会社グッドバンカー)